

平成20年 2月 定例会

第 4 号
(2月22日)

平成 20 年 熊本県議会2月定例会会議録 第4号

午前 10 時開議

○副議長(馬場成志君) これより本日の会議を開きます。

—————○—————

△日程第1 一般質問

○副議長(馬場成志君) 日程に従いまして、日程第1、昨日に引き続き一般質問を行います。

淵上陽一君。

[淵上陽一君登壇]

◆(淵上陽一君) 皆さんおはようございます。登壇を許されました山鹿市選出・自由民主党の淵上陽一でございます。

昨年4月に初当選をさせていただき、県議会議員として歩き始めたばかりの1年生でございます。何とぞよろしくお願いを申し上げます。本日、初当選後1年にも満たない私に質問の機会を与えていただきました先輩議員並びに同僚議員の皆様には厚く御礼を申し上げます。

質問に立つことが決まりまして以来、潮谷知事の県政運営に対するお考えを直接お尋ねできる初めての機会ということで、緊張の中で準備を進めてまいりました。しかし、潮谷県政に対する私の質問は、これが最初で最後になるわけでありまして、いささか複雑な思いを抱きながら、今この場に立っております。

顧みますと、潮谷知事におかれましては、私の半分にも満たないと思われる小さなお体で、8年の長きにわたって、24時間365日、183万県民に対する重い責任を背負い続けてこられました。その献身的な御努力と御功績に対し、心より敬意と謝意を表しますとともに、最後の一日まで持ち前の全力投球を貫かれまして有終の美を飾られますよう祈念を申し上げます。

では、質問に移らせていただきますが、1つお断りを申し上げます。

思いますに、県議会における質問と申しますと、先輩議員の皆様方のように、県政全般を大所高所から見渡した上で、県民の皆様のご関心が高く政策的な手当てが必要な問題について、執行部のお考えをお尋ねする場であろうと存じます。しかし、1年生議員として勉強中の私は、残念ながらそのような見識を持ち合わせておりません。

つきましては、地元山鹿市の自分の身近で起きているさまざまな問題の中で、山鹿のみならず、県全体に広がりを持つであろうと思われる案件を取り上げ、質問させていただきたいと存じます。

何分ふなれてございます。お聞き苦しい点は御容赦を賜りまして、どうかよろしく御答弁をいただきますようお願いを申し上げます。

最初に、菊池川流域の活性化に向けての観光振興についてお伺いいたします。

九州新幹線の全線開業が3年後に迫り、その効果を最大限に生かすために、行政、民間一体となって、さまざまな準備が進められております。

その中で、菊池川流域の市と町が、観光振興の起爆剤として、一日も早い実現を待ち望んでいる重要な案件がございます。それは、山鹿市菊鹿町を中心として、菊池市に広がる国指定史跡鞠智城跡の国営公園化であります。

本件につきましては、私の郷土の大先輩古閑三博先生が、昨年2月議会における最終登壇の中で、多くの時間を割いてその熱い思いを語られたことは、皆様御記憶のとおりでございます。

潮谷知事には、昨年、年頭会見において、鞠智城の国営公園化を目指すとの決意を述べられ、続く2月の期成会設立に当たっては、会長に御就任いただきました。

こうした熊本県を挙げての御支援を得て、昨年は、国営公園の所管官庁である国土交通省に対し、繰り返し要望が行われ、加えて、県選出国会議員の先生方に対する協力要請の陳情も重ねられました。

6月、熊本県と姉妹関係にある韓国・忠清南道の李完九知事が御視察の折、韓国で失われた百済文化が異国の鞠智城に残っていたと感激されたことが縁となって、10月には、熊本県立装飾古墳館と韓国・忠清南道の百済歴史文化館との間で姉妹提携の調印を行うに至りました。

これは、鞠智城の貴重な歴史的価値を証明するとともに、古きをたずねて新しきを知る日韓友好の新しい姿を示す大変意義深い提携であると存じます。

秋には、県と山鹿、菊池両市により、鞠智城の知名度アップを目指した講演会、シンポジウムが連続して開催され、好評を博しました。

11月5日、皇太子殿下におかれましては、鞠智城への行啓を賜り、御視察の栄に浴しました。

そして、12月1日、公明党議員団のお骨折りをいただいて、冬柴国土交通大臣による現地視察が実現し、直接要望を行うことができました。その際、大臣より、来年度の調査費に対する国庫補助について確約をいただきました。

今年に入りましてからも、国会議員の先生方による国営公園化に向けての活動が活発化しており、まことにありがたい限りでございます。

県は、平成6年度以来、学術調査に基づいて鞠智城跡の歴史公園化に取り組んでおられますが、その県事業を受け継ぐ形で国土交通省による大規模な国営公園づくりが実現しますと、復元建物を含む公園施設は飛躍的に充実し、鞠智城跡は全国に知れ渡り、観光資源としても不

動の存在となります。

それにより、新幹線新玉名駅を新しい玄関口として、全国からの修学旅行生、団体観光客、韓国人旅行客の誘致を初めとする観光振興を初めとして、地域産業全体の発展に多大なる波及効果を及ぼすことが期待されます。

このような意義を見据え、全国屈指の古代文化遺産に恵まれた菊池川流域の観光資源を最大限に生かすためには、これらをつなぎ合わせる巡回型歴史ロードの設定が最も効果的です。その中心は、鞠智城跡をおいてないと考えます。

古閑三博先生の後を受け、山鹿市で議席をいただきました、私、淵上陽一も、微力ながら鞠智城国営公園化の早期実現に向けて全力を投じる決意でございますので、何とぞよろしくお願い申し上げます。

つきましては、国営公園化推進活動の先頭に立ってこられた潮谷知事に、現在までの成果を踏まえ、今後の運動の進め方について、お考えをお聞かせいただきたいと存じます。

また、国営公園化の実現には、何と申しましても、地元熊本県において、その機運を盛り上げることが重要でありますので、その一つとして、歴史、文化両面で貴重な史跡である鞠智城を、子供たちの教育の中で活用していただけないか、教育長のお考えをお尋ねいたします。

〔知事潮谷義子さん登壇〕

◎知事（潮谷義子さん） 鞠智城の整備につきましては、本県の重要プロジェクトとして位置付けてまいりました。昭和 42 年度から発掘調査を開始し、さらに、平成6年度から歴史公園としての整備を進め、今日に至っております。

この整備は、九州新幹線の全線開業を間近に控え、国営公園化を進めることで、菊池川流域の活性化はもとよりですけれども、阿蘇を初め県全体にその効果は波及していくものと考えております。

淵上議員もお触れになられましたように、昨年度末には、県や山鹿市、菊池市、それぞれ国営鞠智城歴史公園設置促進期成会を立ち上げてまいりました。国営公園化に向けて、国に対し要望活動等を精力的に行っていることは御承知のとおりでございます。

鞠智城の国営公園化を推進するためには、知名度のアップとともに、文化財としての重要性の認知度を上げることが課題でございます。このため、講演会や国際シンポジウムなどの広報活動を展開しますとともに、鞠智城にゆかりが深い百済がございました韓国・忠清南道との文化交流を進めることとしております。国営公園化に向けての国際的な連携の和を広げていきたいと考えております。

関係者の御支援により、韓国からの観光客も含めて、歴史公園鞠智城への入場者は 100 万人を突破し、鞠智城の知名度や文化的価値の認知度も向上してきております。

また、地元選出国會議員の方々が国営公園化に関する議員連盟が設立され、2月 27 日には、国営公園化推進東京フォーラムを県と議員連盟で共同開催し、知名度の向上を図るとともに、関係機関へのアピールを行うこととしております。

さらに、来年度は、国庫補助事業により大規模な歴史公園整備構想を策定し、国営公園とし

での整備のコンセプトを明確にしますとともに、鞠智城の歴史的価値の認知向上について、戦略的に取り組んでまいりたいと考えております。

国営公園化が現実的なものとなるよう、今後も引き続き、県議会を初め関係者の御支援を心からお願いするところでございます。

〔教育長柿塚純男君登壇〕

◎教育長（柿塚純男君） 熊本の代表的な史跡の一つであります鞠智城の歴史的価値を子供たちが学ぶことは、郷土への誇りはもとよりでございますが、我がふるさとを愛する姿勢醸成につながるものと認識しております。国営公園化への取り組みを機に、多くの子供たちがふるさとの歴史文化を学んでほしいと考えているところでございます。

県教育委員会では、本年度、子供たちが生きた歴史を体験できる野外学習の場として鞠智城を積極的に利活用するよう、各学校や社会教育施設等へ通知するとともに、教育関係機関の会議あるいは研修会等、さまざまな機会を通じて、鞠智城国営公園化の取り組みの趣旨及び史跡の利活用について要請を行ったところでございます。

また、小学校等で実施されております社会見学や集団宿泊教室等の機会を利用し、その移動経路の中での見学場所の一つとしても提案しており、今後とも、市町村教育委員会の御協力を得ながら、子供たちへの教育活動の中で、鞠智城が大いに利活用されるよう積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

〔淵上陽一君登壇〕

◆（淵上陽一君） 知事、教育長、ありがとうございました。

国営公園化の一日も早い実現に向けて、引き続き県の全面的な御支援をお願いいたします。潮谷知事におかれましては、後任の知事さんに対する本件の引き継ぎ方、どうかよろしく願いをいたします。

本質問に関連して、道路整備について、3点要望を申し上げます。

まず、平成18年11月議会において池田秀男議員が質問された、荒尾、玉名、山鹿、菊池、阿蘇を結ぶ県北横断道路の建設促進と、昨年9月、早田順一議員が質問された、新玉名駅から鹿本・菊池地域へのアクセス道路の整備の推進に、一層の御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

次に、国営公園化の機運をさらに盛り上げるために、できるだけ多くの人に鞠智城を訪ねていただけるよう、県道鹿本松尾線改良工事の早期完了並びに国道325号線より鞠智城への案内サインの充実強化をお願いいたします。

3点目は、山鹿市が中心市街地活性化のために進めている八千代座を中心とした豊前街道の電線類地中化に関連して、山鹿市の中心を貫く国道325号線の豊前街道との交差点付近から国道3号線までの区間について、景観一体化のために同様の電線類地中化工事を実施していただきたいというお願いでございます。

以上、早期実現に向けて特段の御配慮を賜りますよう、ここに要望いたします。

なお、本件に限らず、地方、特に郡部の活性化は、道路整備を抜きに語ることはできません。つ

きましては、今後も安定的に地方の道路整備を推進していくために、現在国会で焦点となっている揮発油税暫定税率の期限延長と道路特定財源の堅持について、しっかりと働きかけていただきますよう、あわせてお願いを申し上げます。